

2006 平成18年

ふいふい 放水足踏

12月号 vol.153

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



特集

神戸川(拡幅部)で見られる野鳥の紹介

冬鳥の季節到来!



夜景
神戸川の支川のひとつである
新宮川左岸の丘の上に位置する
久奈子神社からは出雲市内
の夜景を望むことができます。



神戸川(拡幅部)で見られる野鳥の紹介 冬鳥の季節到来!

宍道湖・中海には、冬になるとハクチョウ、ガン、カモなど、多くの水鳥たちが北方から越冬のためにやってきます。神戸川でも、そんな冬鳥をたくさん観察することができます。
今月号は、神戸川(拡幅部)で、野鳥観察にお勧めのポイントと、そこで見られる野鳥を紹介します。

ポイント1 河口部

- 川の流れと海の流れが合流し、流れが穏やかになる環境です。
- 海ガモやカモメが休息のためにたくさん集まっています。
- この環境は、斐伊川放水路が完成した後も保全されます。

水深が浅く、流れが穏やかでカモ類が集まっています。

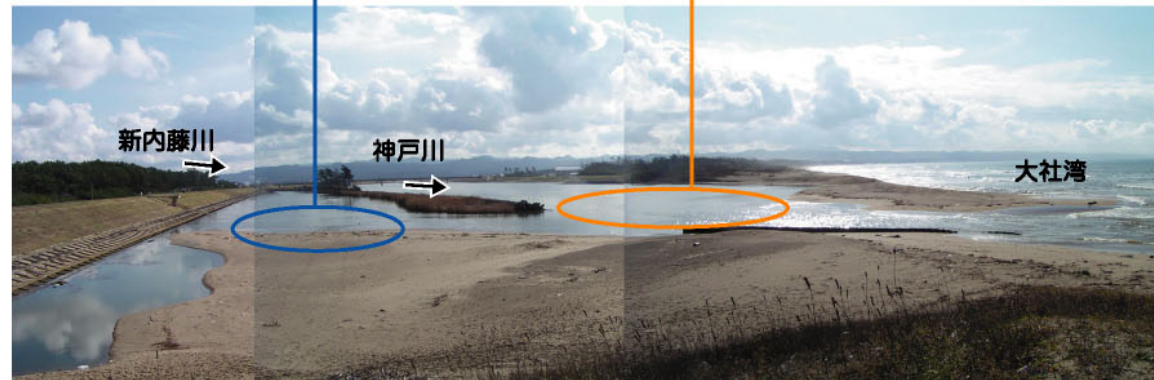
- ・ヒドリガモ・カルガモ
- ・ヨシガモ・オカヨシガモ
- ・オナガガモ



潜水が得意で小魚や貝をエサにするカモ類や、休息するカモメが集まっています。

- ・ホシハシロ・スズガモ
- ・セグロカモメ・ウミネコ
- ・ユリカモメ

※ホシハシロ、スズガモ、キングロハシロが多く渡来する湖として、中海・宍道湖はラムサール条約に登録されています。



ポイント2 新崎屋橋下流

- 左岸に現在せき止められた止水水域があります。このエリアは、流れが穏やかで利用されやすくなっています。
- カモ類やカワウが休息地として右岸に整備されたワンドを利用しています。



- 左岸**
- ・ハシビロガモ
 - ・コガモ
 - ・カルガモ
 - ・ミコアイサ
 - ・カイツブリ
- 右岸**
- ・カワウ
 - ・カルガモ
 - ・コガモ

新崎屋橋下流右岸に新しく整備されたワンド

今回紹介しているウォッチングポイント



宍道湖バードウォッチング2007

- 実施日時 平成19年1月27日(土) 9:00~11:30
- 集合場所 宍道湖自然館ゴビウス横 駐車場内「多目的ホール」
- 内容 バードウォッチング
- 応募方法 電話又はFAXにて、ホシザキグリーン財団まで
ホシザキグリーン財団 企画交流課 島根県出雲市岡町沖の島1659-5
TEL0853-63-7100 FAX0853-63-7101



定員
45名

持ち物・服装など 防寒着、動きやすい服装

双眼鏡をお持ちの方は持参願います。貸出もいたします。

締切●平成19年1月19日(金)
ただし、定員になり次第締め切らせて頂きます。

ポイント3 神戸堰下流

- 堰(せき)の下流は水深が浅く、鳥にとってエサがとりやすい環境になっています。

※ハクチョウは古くからこの地方に渡来していたようです。「出雲風土記」にもその名が見られます。また島根県を代表する鳥として県の鳥に指定されています。

水際の水生昆虫や魚類が多い箇所

- ・セグロセキレイ
- ・インシギ など



草があり、流れも静かな箇所

- ・カルガモ
- ・コバクチョウ など



水深が深い箇所
カワウ・カイツブリ など

水深が浅く小魚などが多い箇所

- ・コサギ
- ・ダイサギ
- ・アオサギ など



神戸堰、JR橋梁の工事が終わり、水の流れが安定すれば、堰周辺にはより多くのカモ類が集まってくるでしょう。

草地

- ・モズ など



バードウォッチング 秘テクニック

バードウォッチングに最適な日は?

カモ類はあまり天気左右されませんが、小鳥は天気が悪く寒い時は草の陰などでじっとして、寒さに耐えています。日が差して暖かくなってくると、水辺や草原に姿を現します。天気の良い日がバードウォッチングには最適です。

バードウォッチングに必要な道具は?

肉眼でも鳥を見つけることはできますが、**双眼鏡**があれば、より鳥を身近に見ることができ楽しめます。**図鑑**があれば、鳥の名前や特徴などを調べながら、より楽しむことができます。発見した鳥をチェックしていけば、達成感もUP! ただし、寒い冬場のバードウォッチングでは、防寒対策もしっかりと。鳥に夢中になって風邪などをひかないように注意して下さい。

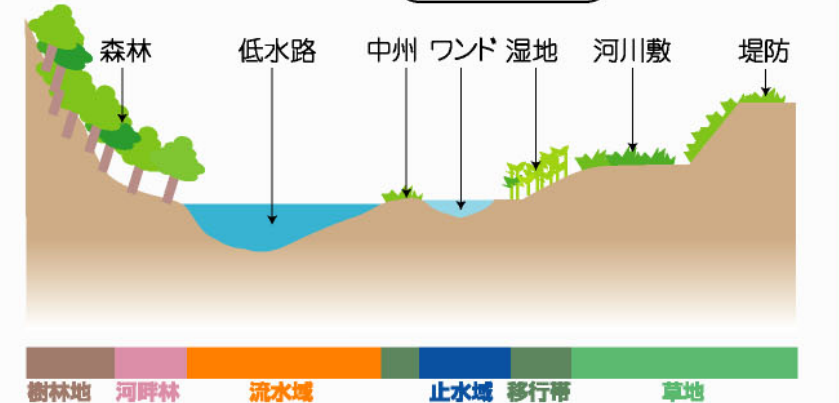
工事現場付近の立入り禁止の柵がある場所は危険です。柵内での野鳥観察はしないで下さい。団体のバードウォッチングを行う場合は、こちらまでご連絡下さい。

出雲河川事務所 放水路推進室 工事係
TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829



川の環境の特徴

川にはいろいろな環境があるから、多くの鳥が見られるんだよ。



- 樹林地** 樹木が多くある場所
- 河川林** 洪水などの影響を受ける不安定な土地(河川敷など)に生育している森林
- 流水域** 川の水が流れている場所
- 草地** 河川敷や中州など普段は水に浸からない場所
- 止水域** ワンドや支流など本流より流れが穏やかな水面
- 移行帯** 水位の変動によって水中に沈んだり、陸になったりする場所

お知らせ 神戸川源流散策会を 行いました

出雲河川事務所では、十一月十九日に神戸川源流散策会を開催しました。

この散策会は河川源流の自然を観察し、河川環境の保全について理解を深めてもらうために毎年開催しています。今年は神戸川の源流を観察するため広島県との県境にある女亀山(めんがめやま)を訪れました。当日はあいにくの雨模様でしたが、出雲、松江地区より参加いただいた三十五名の方々と源流及び女亀山山頂を目指しました。途中、飯南町「森の案内人」の方に案内していただきながら源流の豊かな自然にふれることができました。

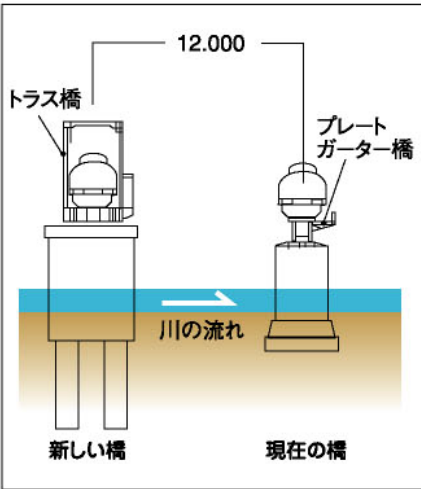


シリーズ 土木現場に行く

神戸川中流部には、JR山陰本線の橋があります。この橋は、放水路事業により架け替えが必要となり、平成17年3月より工事に着手しています。その後、工事は順調に進み、平成18年4月より始まったトラス橋の架設がもう少して完成します。今後は、約12m上流に移動した橋梁前後の線路を敷設し、線路の切替えを行い、旧線路と旧橋の撤去を行う予定です。

ここが違う、新旧橋梁

- ① 付替え部分にはロングレールを使用しますので、継ぎ目がなくなり、騒音振動が軽減されます。
- ② 地中深く(30m以上)まで基礎杭を施工していますので耐震性能が大幅にアップしています。
- ③ トラス橋とすることで径間(橋脚間隔)が約2倍になり、経済的になっています。



トラス構造

JR山陰本線神戸川橋梁 上流から下流を望む(平成18年12月11日撮影)

工事発注情報

- 斐伊川放水路大津第2地盤改良工事
H18.11.8 ~ H19.2.28 佐伯建設工業(株)
- 斐伊川放水路高松地区水路外工事
H18.11.28 ~ H19.3.31 (株)増岡組

本年も斐伊川放水路事業に対しまして、地域の皆様方には格別のご理解とご協力をいただきありがとうございました。今年も、神戸川も34年ぶりの大洪水に見舞われ上流部では甚大な被害が起きたことは大変残念でなりません。このような被害が再び起きることのないよう、引き続き斐伊川放水路事業の早期完成を目指し事業を進めて参ります。来年が皆さまにとって良い年でありますことを心よりお祈りいたします。



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail: izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.izumokasen-mlit.go.jp/>